

創立明治7年
開校147周年

令和3年度 紅梅小だより

赤塚っ子学びのエリア



紅梅



5月号

令和3年4月30日
板橋区立紅梅小学校
校長 小宮孝之

〇たくまい子

〇よく考える子

〇思いやりのある子

保護者・地域の皆さんの協力

副校長 山下 穰

3度目の緊急事態宣言が出されました。変異株が増加し、さらに感染拡大の恐れがあり、人の流れを押さえることが大きな課題となっています。区内でも、また少しずつ児童・生徒の感染報告が届いています。学校では、密とならないように注意し、継続して感染防止の取組を行っています。消毒や換気等はより一層徹底していきたいと思えます。

4月中に計画していた学校公開や保護者会は、感染拡大の状況を考慮し、中止にさせていただきました。保護者会については、資料を配付し、動画配信をするように変更いたしました。学校公開は5月、6月の土曜授業プランで改めて計画していきます。昨年度末の学校評価でも「学校の様子がわかるとありがたい」とのご意見が多数ありました。ホームページでの学習風景写真の公開やクロームブックタブレットを活用した動画配信など、子供たちの様子を紹介できる方法を今後も探っていきます。

先日、全校朝会の中で、見守り隊の方々との対面式を行いました。体育館に集まることができない代わりに、Zoomを活用して各学級の電子黒板に映しての対面を実施しました。昨年度末に新規登録のお願いをしたところ、新年度にPTA本部役員になる方々だけでなく、多数の保護者の皆様にご登録いただき、合計150名となりました。今後も児童の登下校を中心に、できるときに子供たちの見守りをお願いいたします。

昨年度は春先に休校期間が続いたため、例年体験させていただいていた茶摘みや田植えができませんでした。今年も準備をしてくださっていましたが、緊急事態宣言の発令により、校外学習や外部講師を招いての出前授業を控えることになり、残念ながら

6日(木)の茶摘みは中止となりました。製茶されたお茶の葉は、関係者の皆様のご厚意で、今年も1学期末頃いただくこととなります。

田植えは12日(水)の予定です。緊急事態宣言が11日に終了し、実施できればと願っています。昨年度は、水車公園での田植えもできませんでした。体験で使う予定だった苗を分けていただきましたが、休校や分散登校の期間もあり、児童とともに育てることができず、同時に行ったバケツ稲づくりも十分な成果が上がりませんでした。しかしながら、この経験を生かし、昨年度から「紅梅米を育てる」ことを目標に、5年生が総合的な学習の時間で取り組んでいます。その成果と課題を活かして今年度こそ更なる収穫を目指しています。大規模改修工事が終了した来年度には、校庭の学年園の中に米作り用の田んぼが整備され、一層楽しみが広がります。

連休が続く中、新型コロナウイルスの感染者が減少しない状況が続いています。このお休みの間や夜間にご家族やお子様が発熱等の症状により、PCR検査を受けた場合や濃厚接触者となった場合には、速やかに本校の感染症緊急連絡先にご連絡ください(kobaies-sp02@ita.ed.jp)。学校から区教育委員会への報告の必要がありますので、連絡の際には、以下の連絡事項をお知らせください。

- ①対象となるご家族等(お子さんとの関係)
- ②検査の状況
 - ・濃厚接触者かどうか。
 - ・PCR検査を受けたかどうか。
 - ・検査の実施予定日。検査結果予定日。
 - ・受診および検査を実施した医療機関名。
- ③お子さんの健康状況(熱や咳、味覚症状等)
- ④休日・夜間の連絡先